

平成 2 3 年度事務事業評価調書

平成 2 3 年度作成

平成 2 2 年度 実施事業	<b>事務事業名</b> 自然体験学習推進経費
-------------------	-------------------------

区分	番号	名 称
章	5	豊かな個性と人間性を育むまち
節	2	学校・家庭・地域と連携し心豊かな人間性を育む
施策	2	地域に根ざした魅力ある学校づくり
小分類	1	特色ある教育活動の推進
主要な施策	3	体験活動の充実
事務事業番号	003	事務事業コード 52213003 事業開始年度 平成 1 4 年度 事業終了年度 平成 - 年度

会計種別	一般会計	予算書上の事務事業名	自然体験学習推進経費
------	------	------------	------------

部 名	教育部	グループ名	学校教育 G
-----	-----	-------	--------

統合前または名称変更前の事業名	
-----------------	--

事務事業の目的と成果

目的	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施目的を具体的に記載してください)</p> <p>地域の特性を活かした自然体験学習を推進することにより、児童生徒の社会性・自主性の育成を図る。</p>
手段 (事業の内容・活動)	<p style="background-color: #ffffcc;">(目的を達成するためにどのような手法で行うのか、事業の概要を具体的に記載してください)</p> <p>登別市ネイチャーセンターふおれすと鉱山を活用し、宿泊学習や炊事遠足等の自然体験学習を実施する。</p> <p>【事業内容】</p> <p>対象</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各小学校 5 年生 計 3 3 2 名</li> <li>・各中学校 1 年生 計 2 9 0 名</li> </ul> <p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・自然遊び体験</li> <li>・ものづくり体験</li> <li>・屋外調理実習等</li> </ul>
成果	<p style="background-color: #ffffcc;">(事務事業の実施成果を具体的に記載してください)</p> <p>自然体験学習を通して、教室では学ぶことができない事柄に触れ、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができる。また、様々な活動を通して児童生徒の社会性・自主性の育成が推進される。</p>
根拠法令等	<p style="background-color: #ffffcc;">(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称をすべて記載してください)</p>

指標の推移

区 分		単位	区分	22年度 実績	23年度 目標	24年度 目標	25年度 目標	26年度 目標
成果 指標	体験学習実施回数(日帰り)	回	目標値	5	5	5	5	5
			実績値	3	/	/	/	/
	体験学習実施回数(宿泊)	回	目標値	8	8	8	8	8
			実績値	7	/	/	/	/

## 事業費の推移

区 分		単位	22年度 決算	23年度 当初予算	24年度 見込	25年度 見込	26年度 見込	24～26 年度
事業の 財源内訳	国庫支出金 名称	千円						0
	道支出金 名称	千円						0
	地方債 名称	千円						0
	その他 名称	千円						0
	一般財源 名称	千円	588	618	662	662	662	1,986
合 計			588	618	662	662	662	1,986
(参考) 上記事業を実施する上で 必要となる人件費		職 員	千円	664	682			
		嘱 託 員	千円	0	0			
		臨時職員	千円	0	0			
		合 計		664	682			

## 担当グループによる事務事業評価の内容

1. 事務事業の妥当性について			
今後も市が事業主体として実施していくことは妥当ですか？	→	妥当である 妥当ではない	→ 妥当である理由、妥当ではない理由は何ですか？ 自然体験学習を通して、教室では学ぶことができない事柄に触れ、児童生徒に学ぶことの楽しさを実感させることができるため、市が事業を行うことは妥当である。
2. 事務事業の成果について			
成果はあがっていますか？	→	成果があがっている どちらかといえばあがっている 成果があがらない	→ 成果があがっている理由、あがらない理由は何ですか？ 炊事遠足などの野外活動、宿泊学習を通じて、協調性を学ぶとともに、児童生徒間の連帯感も増している。
3. 事務事業の成果向上について			
成果を向上させることはできますか？	→	大きく向上させることができる 少し向上させることができる 向上させることはできない	→ どのようにして向上させますか？ 向上させることができない理由は何ですか？ 机上で学んだ知識を実際に使うことで、学ぶことの楽しさを実感できるように配慮する。
4. 事務事業の経済性・効率性について			
成果を落とさずにコスト（予算や人工、所要時間）を削減することはできますか？	→	削減できる 削減できない	→ どのような方法でコストを削減しますか？ 削減できない理由は何ですか？ 本事業の経費は、ネイチャーセンターへの移動に要する経費であるため、削減は事業規模の縮減に繋がり、児童生徒の自然体験の機会を狭めることになる。

## 担当グループによる評価

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由（根拠）	自然体験学習等を通して、児童生徒の社会性・自主性を育てるために必要な事業である。
-----------	----------------------	--

## 総合的な評価（当該事務事業の方向性）

<b>維持</b>	備考
-----------	----

### 評価の種類

- 拡大（事務事業の規模や経費を拡大し、これまで以上に強力に推進する事務事業）
- 維持（現状の対象や目指す姿、手段などに変更が無く、今後も実施する事務事業）
- 改善（現状の手段や経費などを見直し、成果指標の向上等を行う必要がある事務事業）
- 休止（暫定的に休止する事務事業）
- 終了（当初から決められていた事業期間が終了または成果品等が完成し、目的を果たした事務事業）
- 廃止（当該事務事業の予定を変更し、廃止する事務事業）